



蓮池の夢通信

第2号

平成20年9月 1日

宇都宮城跡蓮池再生検討委員会

<http://park.geocities.jp/hasuikesaisei>

**** 遂に蓮の実発見！ ****

会長 石 川 速 夫

本会も発足以来3年、多くの方々のご理解とご支援をいただきながら、さまざまな活動を行って参りました。今年はいよいよ本番ということで、蓮池跡地の発掘調査をしたところ、幸いに16個の蓮の実を発見、発芽にも成功しました。来年はその開花も夢ではないと、期待はふくらみます。しかしまだ科学的裏付けの調査も必要ですので、今後も皆様の変わらぬご支援をお願いすると共に種々積極的なご提案やご協力をお願いします。



写真ー1 二荒山神社による安全祈願



写真ー2 建柱車による掘削作業



写真ー3 蓮の実を見つけるボランティア



写真ー4 蓮の実を見つけるボランティア



写真ー5 確認された多くの葉柄



写真ー6 No.10 7月29日 立ち葉へ生長



写真ー7 No.12 7月29日 立ち葉へ生長

発掘に係わった方々からのメッセージ

・壬生町 飯野一郎（宇都宮記念病院副院長 蓮池跡地の地権者）さん

10年ほど前、縁あってこの土地を購入しましたが、元は堀だったとは知りませんでした。この話が来た時にはびっくりしました。今回蓮の種が出てきて、芽が出たとのことですが、この蓮が宇都宮城の堀に咲くことを願っております。

・市内宝木本町 佐藤 節（県地質調査業協会長）さん

蓮池再生の会が発足前から、蓮池跡地のボーリングについての相談がありました。18年2月に会が発足し、9月には「宇都宮城想定図」が刊行されると、いよいよ我々の出番かと覚悟していたところ、大賀一郎博士が蓮の実を発見した3月30日と年度内にとのことから3月31日に公開でボーリング調査の運びとなりました。誰もが知らない、未知なる世界を、微力ながら当協会が協力することができ、宇都宮城跡上蓮池の史実解明に向け、その一端を担えたことに満足しております。

・市内戸祭 阿部 慥（二荒山神社権宮司）さん

「今度蓮池があった所で採種するのでお祓いしてくれ、カネハナイ」の困った依頼を受けた。丁重に断るところだが石川会長さまには一方ならぬ恩義があり引き受けた。明神さまのご霊験あらたか也。見事採種できてホッとした。歌人・蓮生(宇都宮五代頼綱)の法名由来なのか判らないが「蓮華往生」と云う仏語がある。蓮華咲く極楽浄土に生まれかわる意とのこと。我が宇都宮の現世に蓮の花薫る極楽浄土（ユートピア）が出現するのを夢見ている。

・稲垣宣昭（東京電力 宇都宮支社長）さん

微力ながら、夢あふれるプロジェクトのお手伝いをすることができましたことを、企業市民として大変光栄に思っております。建柱車によるボーリングで蓮の実が発掘された時は、感慨ひとしおでありましたと同時に正直ほっとしたものでした。今後の関係者の方がたのご努力にご期待申し上げ、悠久の時を経て蓮池が甦り美しい蓮の花が咲き誇ることを心よりお祈りしています。

・市内元今泉 野澤広充（宇都宮建設業青年の会前会長）さん

蓮の種発掘のお話を聞いたのは7年位前のことでした。私は青年の会の一会員でしたが夢のある話だなと思っていました。まさか私が会長を引き受けている時に実現するとは思っていませんでした。夢が現実となった瞬間に立ち会えた事を嬉しく思っています。業界全体が重苦しい空気に包まれている中、我々青年の会にとって、一輪の明るい花が咲いたようで全員喜んでおります。発掘に参加できたことを感謝しております。ありがとうございました。

・市内若草 網川雅子（細谷小校長）さん

細谷小学校の「希望の泉」という池に蓮をお借りする労を執って下さった会員の荒井さんからの誘いで蓮の実発掘に参加しました。大きな土の山を手で少しずつ丁寧にほぐしていくと、どんぐりのような物が見つかりました。それが蓮の実と分かり、正しく夢のようで大感激でした。発芽にも成功したとのことで、400年の眠りから覚めた蓮が清々しい華で宇都宮を彩る日も近いことを感じて、とても楽しみです。

・多摩市 阿部主計（(財)進化生物研究所）さん

平成20年4月5日、本丸町地内での発掘現場に立会い、12粒のハスの実が発掘され、蓮池再生検討委員会の知と労との結集に感動をいただいた。大賀一郎も「古代ハス」発掘計画時、地形図に地層別の色分けをしていた。時代が変わろうと、調査の基本は行動から始まる。今、ハスの実は発芽処理された後、立葉まで生長されていると聞く。福来る年、宇都宮城跡池一面、蓮の花咲く夢に想いをはせている。

宇都宮は、叔母が大戦時に疎開し、暮らされた地、思い出の地でもある。感謝

・市内下栗町 宇賀神 瞳（宇都宮大学3年）さん

自分の生まれた町の一角に、土の中にそのままの状態で眠っているとは思ってもみなかったので、発掘し

たときは驚き感動しました。このような生きた化石は、地域の重要な資財となるのではないのでしょうか。現世で眠りから覚め、新たに生きることができれば、素晴らしいと思いました。

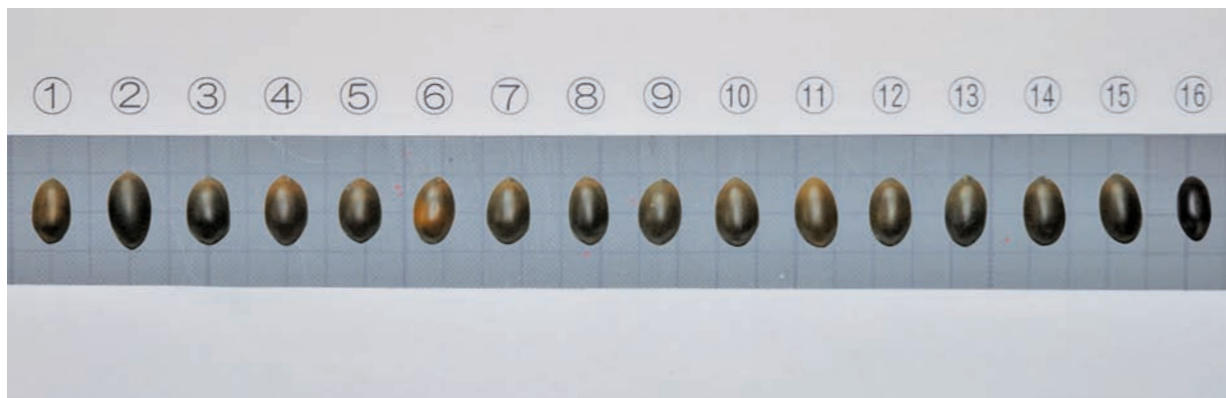
・市内富士見が丘 荒井麻衣・れい（豊郷中央小5年・4年）さん

私は春休み、お爺ちゃんと妹といっしょに、宇都宮城の近くにあったという蓮池で蓮の種をさがしました。大きなドリルで土を掘って、その土をブルーシートに広げてくれました。最初に見つけた大学生のお兄さんは、ドングリだといったのが蓮の実でした。ラグビーボールのような形でびっくりしました。私と妹もがんばりましたが蓮の種は見つけれませんでした。でも春休みの楽しい思い出になりました。

発掘後の経過と今後の予定 平成20年

※下記写真のNo.は表紙の写真と整合しています。

- 4月 5日：昨年のボーリング個所に於いて、発掘作業に先立ち二荒山神社のご好意により、工事の安全を祈願していただいた。その後、建柱車による掘削と地域の方々・宇都宮大学の学生等を含め50名のボランティアの協力により午前9時から作業を開始し9時30分には3個の実を発見し、その後に9個、計12個を見つけ11時30分に作業を終了した。 写真-1～4
その後、持ち帰った泥から4月15日に2個、5月2日に1個の実が見つかった。
- 4月28日：今回発掘された実の断面的な位置関係（年代）が不明確なので、再度掘削に向け、関係されました皆様方に協力をお願いしたところ、理解が得られ再掘削が可能となった。
- 5月 2日：再調査ができることになり、先に発見した15個の中5個の実に発芽処理を施した。
- 5月10日：5個の中、No.3、No.7は発芽しなく、空隙の多いNo.11は発芽したものの生長しなかった。No.10とNo.12は発芽し順調に生長している。
- 5月27日：勇気ある再調査と題し、建柱車とボーリングを併用し、年代測定に向けた泥の供試体を5検体作成できた。中2検体を現場で、10センチ毎に歴史を証す手懸りを求め調査したところ、1個の蓮の実（計16個）と蓮の生存を証す多くの葉柄（茎）が確認できた。 写真-5
同日、順調に20センチ程に生長したNo.10とNo.12を容器へ定植した。
- 5月30日：これまで、発掘等にご協力いただいた事業所等（14社）に感謝状を贈呈しました。
- 6月 7日：残った3個の供試体の中2検体を更に10センチ毎に調査すると多くの葉柄が確認できた。
- 6月 9日：順調に生長していたNo.10が、カラスのいたずらにより掘り起こされたが、無事だった。
- 6月16日：残った1検体にX線を照射し、サンプル内の状況を知ることが出来ないか宇都宮記念病院副院長飯野先生に相談したところ、東芝関連企業を紹介いただき、同社のご好意により無料でX線によるCTスキャンをしていただくことになった。
- 6月22日：早速、X線による非破壊検査を東芝ITコントロールシステム（株）のご協力により、1148枚の画像による調査報告をいただいた。
- 7月19日：第4回「蓮寺と文化財めぐり（1社5寺）」を実施し、20日にはX線による非破壊検査結～20日 果を中間報告した
- 7月29日：これまで浮き葉であったが13枚目から立ち葉状態になってきた。 写真-6～7
- 8月 1日：昨年まで実施してきた「栃木花蓮写真展」を今年から当会が主催することになり募集を始める。
- 8月20日：懸案であった年代測定の試料を発送した。9月末頃までの結果が待たれる。
- 8月29日：定植後3ヶ月が経過し、多くの立ち葉状態となりいよいよ来年の開花が楽しみとなってきた。
- 9月 1日：「蓮池の夢通信」第2（発掘特集）号として発行
- 10月11日：「第6回栃木花蓮写真展」をNHK宇都宮放送局で展示しますのでご覧下さい。なお、この中～15日 の上位入賞作品は蓮のカレンダーに掲載されます。一方「X線による非破壊検査」と「蓮の年代測定」等について11日午後から市の教育センターで講演会を開催予定。
- 11月 3日：平成21年版「蓮のカレンダー」の完成及び頒布予定。



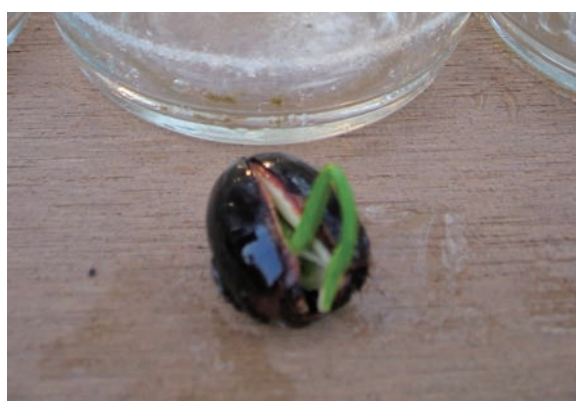
最終確認された16個の蓮の実



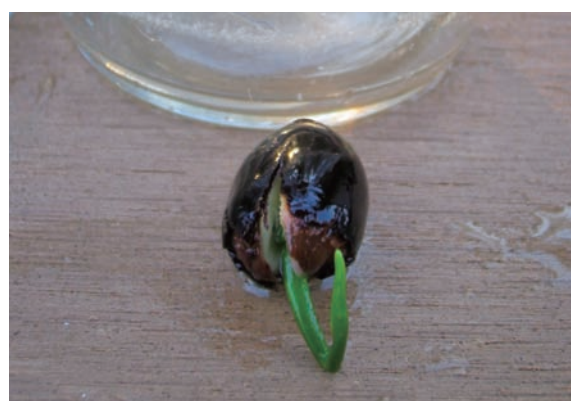
地元企業から提供された計測機器



電子天秤による質量計測



No.10 5月10日 発芽状況



No.12 5月10日 発芽状況

宇都宮城跡蓮池再生検討委員会のご案内

宇都宮市は平成19年3月、宇都宮城の一部復元工事が完成しました。

当会は、宇都宮城に係る絵図に蓮池門、上蓮池、下蓮池などの記載があったことから、江戸期の人々が愛でた蓮の花を、平成の市民が宅地化された蓮池跡から、蓮の実を発掘し、宇都宮の花の文化として蓮池を再生しようと市民運動を展開しております。なお、当会ではこの趣旨に賛同される会員を募っています。

会費：個人会員は年会費1口：1千円から、賛助会員は年会費1口：1万円から。

振替口座番号：00160-2-742086 宇都宮城跡蓮池再生検討委員会 お問い合わせは下記本部・事務局へ

本 部〒320-0023 宇都宮市仲町2-17（塚田方） TEL：028-622-5879 FAX：028-627-0269

事務局〒321-0901 宇都宮市平出町3630-3（印南方） TEL：028-663-1313 FAX： 同左

事務局から

去る4月、幸いにも蓮の実が見つかり、中2個の実は順調に生長しており、来年の開花が待たれます。

「第6回栃木花蓮写真展」の作品をご覧になることが出来ますので（別添 蓮の写真募集参照）NHK 宇都宮放送局へお出かけ下さい。また同写真展の上位入賞作品の中から、平成21年版の「蓮のカレンダー」を作成しますので送料共1部千円で予約を受けます。上記本部へ住所・氏名・TEL・部数を記載しFAX 願います。